

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援 フォルテシモ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 9日		～ 2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内環境	基準以上のスペースを十分確保し、バリアフリーの室内に更にフロアマットも全面使用。上下にもネット利用も可能なプロジェクター・ブルートゥース対応デスク・ピアノ・壁面を使用した磁石式ホワイトボードシート等の利用。	常に広い室内環境を活かして活動を設定できるように、物の収納や環境設定を状況に応じて考え取り組んでまいります。
2	プログラムを固定化せず行える柔軟な対応力	支援の方向を多角的からアプローチを考えています。	引き続き、より良い支援を考えスキルアップ研修を取り入れてまいります。
3	施設を取り巻く環境	系列施設との連携を取りながら活動に幅が出るよう取り組んでいます。積極的に戸外への活動に出かけ、学び気付き等の機会を取り入れていきます。	引き続き、系列施設との連携、協力を行ってまいります。地域資源の活用を積極的に取り入れてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	まだまだ体制を充実させる余地がある施設状況	現職員体制でチームとしての経験を積んでいくこと。	経験を積んでいくための勉強会。
2	安定した施設運営にはまだまだこれからの施設	安定した職員確保が難しい。	日々の支援への施設の安定した基盤の確立。
3	支援員の益々のスキルアップ	当施設で行いたい支援の充実への道のり。	スキルアップ研修の充実。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 フォルデシモ

公表日 2025年 2月 28日

利用児童数 2025年 2月 28日

回収数 12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				・面談時等に伺った時、スペースが十分に確保されて広々と感じます。	今後もご利用時の状態や活動内容に合わせて工夫をし、快適な環境の提供に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12				・配置数には満足しています。	丁寧に保護者の方への説明を行いながら、今後もご利用時にきめ細やかな対応ができるように、手厚い配置の現状を継続できるように努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12				・入り口からバリアフリーになっている ・フロアマットも敷いてあるので心配は少ないと感じています。	今後も安全に配慮をしながら、子ども達も安心して快適に過ごすことが出来るようにと、努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				・個別の机や椅子もあり、活動に合った空間作りがされていると思います。 ・いつ伺っても綺麗です。	今後も常時換気と清掃・感染症対策を行いながら、子ども達が快適に過ごすことが出来るようにと、環境整備に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				・理解して下さっていて、しっかり支援を受けています。	集団活動・個別活動・学習等、個々の特性や課題等の状況、利用時の児童の様子に応じて臨機応変に対応しながら支援に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1	・何のことも分からない	今後も継続して、丁寧なご説明、情報発信に努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				・子どものことを理解して作成下さっていると感じました。	今後もお一人お一人の状況に応じた活動を適宜組み合わせ、支援計画の作成を行ってまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				・実際それ以上の支援をしていただいています。	今後も放課後等デイサービスガイドラインに沿って、適切且つ家族に寄り添った柔軟な対応ができるよう、努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1			・計画に沿った支援をしていただいています。	丁寧に保護者の方への説明を行いながら、今後もお一人お一人の状況に応じた活動を適宜組み合わせ、支援計画の作成及び支援に努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			・色々な面でしっかり工夫されていると感じています。 ・外での活動も楽しいようです。	活動が固定化しないようカリキュラム検討する機会を設け、一人ひとりが意欲的に参加できるような活動プログラム、季節行事、製作を考え、提供していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2		5	・時々施設交流を行って下さっているので、他のお子さまとの関わりや活動ができていると思います。	長期休み期間にどうしても設定がなってしまうかもしれませんが、引き続き機会を設けてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					今後も丁寧な説明を行い、安心・信頼していただける事業所作りに努めて参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					今後も放課後等デイサービス計画を示しながら丁寧な説明を行い、安心・信頼していただける事業所作りに努めて参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	1	2	・工場見学、長期休暇中のイベント行事など親子体験参加型の行事があり、子どもの様子が見られる良い機会になっています。	今後も開所時から開催している保護者体験参加型のイベント行事等を充実させ、ペアレントトレーニングを交えた機会の提供を行ってまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12				・LINEやノートに記入してやり取りができています。	これからも、保護者の方へ分かりやすくお伝えを行い、共通理解の徹底に努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				・その都度して下さっているので助かっています。	今後も面談等の場合は勿論、ご相談があれば丁寧に対応できるよう、支援に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				1	・様子をしっかりと分かりやすく話して下さるので感じています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	3	5	・家族で体験できるお化け屋敷を楽しみに毎年しています。	保護者の方々の必要性を勘案しながら、検討いたします。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8		2	2	・相談させて頂いても説明を丁寧にし頂き、対応の良さに感謝しています。	保護者の方がより相談できる環境を提供していけるようにいたします。再度相談や申し入れの場があることを周知・説明を行い、ご相談があれば丁寧に対応できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1		1	・どの先生も配慮して下さっていると感 じるので安心できます。	今後も保護者の方へ利用時のお子さまのご様子や変化について情報伝達を分かりやすくお伝えを行い、共通理解の徹底に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2		2	・行事の際、何時からどのように等詳しく発信して下さっています。	法人のホームページを充実させて、事業所の公式ライン等を活用しながら情報を発信できるように努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				・利用する際に説明を受けているので思 います。	今後も、個人情報の取扱いには十分に注意をしながら、対応をしてまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1			・LINEや口頭で訓練をしたこと、場所 の案内などの説明を受けています。	マニュアル策定・改善に取り組み、定期的に訓練を実施しております。今後も保護者の方への、周知徹底に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12				・ノートだけでなく、LINEや口頭でも 訓練をしたこと、様子、場所の案内の説明を受けています。	今後も現状を継続しながら、定期的に必要訓練の実施に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1			・きちんと整理整頓がされており、安全 確保が十分にできていると思います。	マニュアルに沿って職員全体で研修・訓練を定期的実施し、緊急時に迅速な対応ができるよう努めてまいります。今後保護者の方にもその旨を丁寧に説明してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1			・些細な気になることがあったらすぐに LINEや電話連絡を貰えるので思いま す。	今後も速やかな連絡・対応を行い、安心してお子さまを預けられるよう努めてまいります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				・いつも笑顔で通所しています。	今後もお子さまに安心して通所して頂けるような環境づくりを徹底してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			・「今日はデイ?」「今日のレクは何か な。」と聞くほど楽しみに通っている。 ・イベント行事があるのが楽しいようです。	今後も楽しく通所して頂けるよう、職員全体で日々の活動を振り返り、お子様の特性や状況に合わせて毎日の活動プログラム・イベント行事を充実して参りたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・日々できることが増えており、適切な支援 をして下さっています。 ・発達の伸びを感じます。 ・いつもありがとうございます。	保護者の方々には、日々ご協力頂き感謝申し上げます。今後も安心・信頼してお子さまを預けられる事業所作りに努めてまいりたいと思います。この度は評価アンケートにご協力頂きありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援 フォルテシモ		公表日		2025 年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		ご利用時の状態や活動内容に合わせて机や活動場所を変更し、工夫をすることで快適な環境の提供に努めています。	今後もご利用時の状態や活動内容に合わせて工夫をし、快適な環境の提供に努めていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		5年以上の経験のある保育士・児童指導員・常勤の認定心理士等により、基準配置よりも更に充実した加配体制に合わせた支援員を配置しています。	丁寧に保護者の方への説明を行いながら、今後にご利用時にきめ細やかな対応ができるように、手厚い配置の現状を継続できるようにと努めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		子ども達が過ごす室内は全面バリアフリーとなっております。更に防音・衝撃吸収マットを敷詰め、活動に合わせて工夫し、障害特性に配慮した室内づくりを行っています。	今後も安全に配慮をしながら、子ども達が安心して快適に過ごすことが出来るようにと、環境整備に努めていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日常時換気と清掃・消毒を行い、清潔を保ち感染症対策を行っています。温度計・湿度計を設置して常時管理把握をして清潔で心地よく過ごせるよう努めています。	今後も常時換気と清掃・感染症対策を行いながら、子ども達が快適に過ごすことが出来るようにと、環境整備に努めていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		療育室を設置し、お子さまの希望に応じて学習したり、クールダウンできる場所として頂いています。	今後も日頃からお子さまの様子を注意深く観察することを意識し、心身の状況に寄り添い個別の部屋の活用を行っていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日のミーティングで支援員と話し合い、必要に応じて業務改善や支援の振り返り、改善共有が出来るようにと努めています。	今後もより良い支援、事業所を目指し適宜振り返り改善に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向けの評価表回収後は、分析検討する場を設け、具体的な改善案を項目ごとに話し合い、改善に努めています。	職員全員に評価シートの結果を共有し、同様の意識をもって改善に取り組んでいけるよう努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日のミーティングで支援員一人一人が意見を出し合える機会を設け、必要に応じて業務改善に努めています。	個別でのフォローアップも含め、職員の意見を把握する機会を設けていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	現在は第三者による外部評価は行っていません。	現在は予定していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		職員全体のスキルアップを目指し、定期的に研修・訓練を行う機会を確保しています。新入社員にも1か月以内に必要な研修が受けられるようにしています。	委員会を設置し、年間計画に沿って研修・訓練を継続して実施していきます。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3	現在、HPによる支援プログラムの公表の準備を行っています。保護者の方には個別でLINEを通じ支援内容や行事内容の詳細を日々伝えています。	法人のホームページを充実させて、事業所の公式ライン等を活用しながら情報を発信できるように努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		丁寧に保護者の方への説明を行いながら課題共有した事を元にし、5領域の項目の設定を行い、内容を記載しています。	今後もお一人お一人の状況に応じた活動を適宜組み合わせ、支援計画の作成、丁寧な説明を行っていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者が原案を作成した後、支援に関わる職員を含めたケース会議を行い、内容検討・修正しています。	今後も、支援に関わる職員を含めたケース会議を行い、内容検討・修正していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		日々のミーティング等を通じて、職員全体で情報共有し、支援計画をもとに、施設で統一した支援を行っています。	今後も継続して行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		より質の高い行き届いた支援が行えるようフォーマル・インフォーマルなアセスメントを使用し、お子様の特性や適応状況を分析理解し支援に繋げています。	今後も適切な支援を行えるよう、様々な角度から分析・検討を行い支援に努めていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		放課後等デイサービスガイドラインを入社時に職員に配布、管理者から基本の知識として説明を行うとともに、事務室に保管し職員がいつでも再確認しやすいサービス提供を行えるようにしています。	今後もガイドラインのねらいや内容を踏まえた支援を継続して行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員全体で日々の活動を振り返り、お子様の特性や状況に合わせて毎日の活動プログラムを考え、立案・修正実行をしています。	今後も継続して行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		日々のミーティングでカリキュラム検討する機会を設け、様々な活動プログラム、季節行事、製作を考え、提供しています。	今後も継続して行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		お子様の特性や心身の状況を鑑みて、一人ひとりが意欲的に参加できるよう工夫しながら個別活動・集団活動を組み合わせ支援を行っています。	今後も、集団活動・個別活動、個々の特性や課題等の状況、利用時の児童の様子に応じて臨機応変に対応しながら支援に努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎日全体ミーティングを行い、お子さまの直近利用時の様子や伝達事項・役割分担等の確認を行っています。変更の際もその都度職員全体に伝達し、ホワイトボードにも記入を行い情報共有を徹底しています。	欠かさず毎日全体ミーティングを行い、お子さまの直近利用時の様子や伝達事項・役割分担等の確認を行っています。変更の際もその都度職員全体に伝達し、ホワイトボードにも記入を行い情報共有を徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		当日、又は翌日には振り返りを行い、職員全体でお子様の様子や課題の進捗状況について共有を行っています。また重要な共有事項に関しては業務日誌に記録を残しています。	今後も、現状を継続しながら、日々職員間での情報共有を行ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		サービス提供記録・活動記録を残し、過去の支援の内容や取り組みの状況等を振り返り、次の支援に活かせるようにしています。	今後も継続して行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを実施しています。支援期間毎に保護者の方と現状を共有し、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。	今後も継続して行っています。また引き続き、保護者の方へも丁寧な説明を書面を提示しながら行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		様々な角度からの支援が行えるよう、個別活動・集団活動を組み合わせサービス提供に努めています。	今後も継続して行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		最終的目標を「将来に向けての自立」とし、自己決定する力を育てる為、様々な角度から支援を行うと共に「見守る支援」ということにおいても職員間で共有しながら支援を行っています。	今後も自己決定ができる、安心できる環境を提供できるよう支援を行ってまいります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		その児童の取り巻く環境を分析した上、サービス担当者会議や関係機関との会議を行うよう努めています。	今後も、関連機関との情報共有を行いながら、会議開催時には慎重に参加者を推薦し、連携を図ってまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		連携体制を整え、関係機関先の情報を書面で保管しています。また、保護者の方へ年に1回アセスメントシートの提出協力をいただき、かかりつけ医等必要な項目の確認を行っています。	緊急時の連絡体制を整えておくとともに、職員間でも共有し迅速な対応ができるよう努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	学校との基本的な情報共有は、保護者の方を通じて行っています。引き渡し方法や緊急時の連携については十分に協議した上、決定しています。	今後も継続して行い、連絡調整など変更があった時には、その都度連絡ツールを使用し全職員に周知できるようにしていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	アセスメントシートや面談を通じて、保護者の方から聞き取りを行うと共に、卒園した園とも連携し相互理解に努めています。	児童発達支援管理責任者が保護者又は園からの情報提供を頂いた際は、ミーティングで全職員に周知されるよう努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	現時点では、小学生までのお子様ご利用されており、現在は移行支援の事例はありません。	今後必要に応じて行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	外部研修へ積極的参加をしています。外部研修受講者以外へ研修内容を共有し、記録を残しています。	今後も支援員全体のスキルアップを目指し、継続して取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	現在は系列施設・長期休み期間に児童館等での交流の機会がありました。	今後も引き続き、機会があれば行っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	今年度の参加実績はありません。	今後、積極的に参加できるよう検討していきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		保護者の方との連絡ノートのコメント欄や事業所のライン等を活用しながら、送迎時の直接のやり取りや電話も利用して、日頃から情報共有できるように努めています。	今後も継続して行っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		開所時より保護者体験参加型のイベント行事を開催しています。また、保護者の方からのご相談があれば、その都度助言をさせていただいています。	今後も保護者体験参加型のイベント行事等を充実させ、ペアレントトレーニングを交えた機会の提供を行ってまいります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		運営規定、利用者負担については契約時、丁寧に説明を行いご不明点がないか確認を行うよう工夫しています。支援プログラムについては見学や、コミュニケーションノート、SNSツールを通じて随時お伝えしています。	今後も継続して行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談等の場合は勿論、日々の支援内容を送迎時やコミュニケーションノートを通じて、お子様の現状課題を共有するうえでサービス提供を行っています。	今後も継続して行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		児童発達支援管理責任者が丁寧な説明を行い、同意を得た上でサービス提供を行っています。	今後も継続して行っています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者の方から送迎時や施設との連絡ノートのコメント欄、事業所のライン等により相談をいただき、悩み等のお話を何うり取りの中で個々に助言を行っています。	今後も継続して行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	現在、保護者会の開催は行っていません。	保護者の方々の必要性を勘案しながら、検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		契約時に保護者の方へ苦情対応及び対応の内容を書面を提示しながら説明し、苦情があった場合に迅速かつ丁寧に対応を行う準備は整えています。	今後も継続して行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3	行事予定については、書面や個別でのLINEで丁寧に説明を行うようにしています。	法人のホームページを充実させて、事業所の公式ライン等を活用しながら情報を発信できるように努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		施設長のみ取り扱うことができるように鍵付き書庫に保管しており、職員全員に取り扱いの重要性を周知しています。破棄する書類はシュレッダーを使用しています。	今後も継続して行っています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		必要に応じて文字・絵カード・メール等、様々なツールの利用を提案する中で、最適な意思疎通・情報伝達の為のツールを選んでいけるように配慮を行っています。	今後も継続して行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	保護者体験参加型のイベント行事を地域の方にもウエルカムボードによりご案内を行い、開かれた事業運営を図っています。	引き続き今後も地域に開かれた事業運営を図ってきたいと思っております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		研修・訓練を定期的実施しています。入社職員については入社時に個別で説明を行っています。	今後も継続して行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画(BCP)に沿って、非常時の訓練を定期的実施しています。入社職員については入社時に個別で説明を行っています。	今後も継続して行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		毎年アセスメントシートを配布し、持病服薬やかかりつけ医について確認を行い、最新の情報を共有して頂くようにしています。	今後も継続して行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現在アレルギー対応しているお子様はいません。アレルギーの有無についても年に一度は変更がないか確認を行うとともに、変更があれば連絡して頂くよう伝えてあります。	今後も、緊急時にも迅速に対応できる環境を整えておきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画の作成を行い、マニュアルの周知、研修訓練の実施を行っています。	今後も継続して行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		緊急時、災害時等が起こった際の対応、避難先の情報、引き渡しの流れについて保護者の方にお伝えしています。また年に1度緊急連絡先シートを記入して頂き、緊急連絡先の更新をして頂いています。	今後も継続して行い、安心安全な事業所体制を整えておきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット・事故報告書などの必要書類は準備され、それにあたる事象が発生した際には、記録を残し対応策を必ず行っています。	今後も継続して行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待研修、身体拘束防止研修については年間計画を策定し、定期的に研修開催を行っています。	今後も継続して行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		現在身体拘束が必要なお子様はいませんが、身体拘束の指針やマニュアルについては全職員で読み合わせ研修を定期的に行い、虐待防止に努めています。	今後も継続して行っています。	